

2023 年度 京都大学 理系 第2問

空間内の4点 O, A, B, C は同一平面上にないとする。点 D, P, Q を次のように定める。点 D は $\overrightarrow{OD} = \overrightarrow{OA} + 2\overrightarrow{OB} + 3\overrightarrow{OC}$ を満たし、点 P は線分 OA を $1:2$ に内分し、点 Q は線分 OB の中点である。

さらに、直線 OD 上の点 R を、直線 QR と直線 PC が交点をもつように定める。

このとき、線分 OR の長さ と 線分 RD の長さ の比 $OR:RD$ を求めよ。

< '23 京都大 >